

いじめ防止学習プログラム 潮陵中プラン

1 ねらい

- (1) 生徒会生活委員会と協力し、1カ月ごとに生徒の生活・活動目標を明らかにし、行事活動を通して生徒の姿を点検・評価する。
- (2) 学級、生徒会、部活動等を通し、自他を尊重する心情や自己存在感を感得する場と機会を用意し点検・評価する。
- (3) 学級担任を中心とした学級づくり活動や教育相談、生徒会中心の仲間づくり活動により、いじめの背景にあるストレスを解消して、いじめの起こらない学校を目指す（予防療法的取組）。
- (4) いじめ及びいじめ類似行為は人権侵害（人間虐待）であり、人間として絶対に許されないということを理解させる。

2 基本方針

- (1) 一人一人の在り方や生徒同士の関係を常に情報共有し、職員が役割分担しながら全職員が一致した認識で取り組む。
- (2) 仲間づくり、集団づくりを学校運営の中心的方法として位置づける。その際、行事活動等の即効的評価価値を大切にし、行動目標を設定するなどして、生徒の変容のみと評価を行い、指導・支援の方途を改善する。
- (3) これまで実践してきた活動を見直し、各活動の意義付けや関連性を共通理解する。また、生徒指導部会・企画委員会等、これまでの組織を活用する。
- (4) 生徒一人一人が役割を担い責任を果たす場を多く設定し、生徒の振り返りを重視することで自己有用感や自己肯定感等を感じさせ、生徒の自浄能力を高めていく。

3 具体的な取組計画

(1) 学級づくり活動

- ①実施日 学活等の時間や学級優先日に実施（行事活動と連動させる）
- ②実施方法 学級の実態に合わせて、集団づくりやアイスブレイキング、1分間スピーチ、レクリエーション、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニングを行う。

(2) 生徒会活動を活用した仲間づくり

- ①活動のねらいに仲間づくりの目的と目標を設定する。
- ②委員会活動、部活動等を通して、望ましい仲間（チーム）活動に取り組ませる。
- ③教師の指導・支援は、一人一人の生徒が自身の個性や良さの理解が深められるよう最大限配慮する。
- ④コミュニケーションスキルや身に付けるべき道德観、実践力の育成に向け、職員間で必要な共通理解を行い、実践に取り組む。

(3) 行事等を中心とした生徒主体の活動づくりと振り返りの場の設定

- ①活動のねらいに仲間づくりの目的と目標を設定する。
- ②委員会、部活動等の縦割り班を生かし、生徒一人一人が役割を担い責任を果たす場を多く設定し、自己有用感や自己肯定感を感じさせる。
- ③教師の指導・支援は、一人一人の生徒が自身の個性や良さの理解が深められるよう最大限配慮する。

※互いを理解しながら協力する気持ちやスキルを実践する場

- ・入学式、卒業式
- ・委員会活動、体育祭の軍団活動（縦割り集団）
- ・日常の清掃活動、給食
- ・総合的な学習の時間「鮭の捕獲・加工」（縦割り班）
- ・魚の森づくり活動、海岸清掃、七夕祭り、夢盆、馬（ボランティア活動）
- ・体育祭、小中合同文化祭（地域・小学生との交流活動）
- ・生徒会レクリエーション